

施策名：子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進

事業名	担当課・室名	ページ
小学校1・2年30人学級編制実施事業	教育人事課	1 / 9
中学校1年30人学級編制実施事業	教育人事課	1 / 9
小学校学力向上対策支援事業	義務教育課	1 / 9
中学校学力向上対策支援事業	義務教育課	1 / 9
ミュージアムを活用した美術教育実践事業	義務教育課	2 / 9
読書だいすき大分っ子育成事業	社会教育課	2 / 9
児童・生徒の歯と口の健康促進事業	体育保健課	2 / 9
体力アップおおいた推進事業	体育保健課	2 / 9
スポーツを通じた学び推進事業	体育保健課	3 / 9
幼児教育推進体制充実事業	義務教育課	3 / 9
ものづくりスペシャリスト育成推進事業	教育財務課	3 / 9
学びの接続推進事業	高校教育課	3 / 9
大分をつなぎ、つむぐキャリア教育推進事業	高校教育課	4 / 9
全国産業教育フェア大分大会開催準備事業	高校教育課	4 / 9
大分のものづくり魅力発信・人材育成事業	高校教育課	4 / 9
キャリアプロデューサー活用推進事業	高校教育課	4 / 9

事業名	担当課・室名	ページ
大分の農林水産業を牽引する担い手育成推進事業	高校教育課	5 / 9
魅力あふれる農業高校情報発信事業	高校教育課	5 / 9
地方創生を担うビジネスカパワーアップ事業	高校教育課	5 / 9
福祉の魅力発見・発信・発展事業	高校教育課	5 / 9
教育庁ワークセンター設置運営事業	教育人事課	6 / 9
特別支援教育振興事業	特別支援教育課	6 / 9
特別支援学校ICT活用支援事業	特別支援教育課	6 / 9
特別支援学校就労支援事業	特別支援教育課	6 / 9
特別支援学校キャリアステップアップ事業	特別支援教育課	7 / 9
小中学校特別支援教育充実事業	特別支援教育課	7 / 9
発達障がいのある子どもの学び支援事業	特別支援教育課	7 / 9
特別支援教育支援員活用事業	高校教育課	7 / 9
I C T活用教育推進事業	教育財務課	8 / 9
県立学校 I C T活用授業推進事業	教育財務課	8 / 9
新時代の学びを支える先端技術活用支援事業	義務教育課	8 / 9
子ども科学体験推進事業	社会教育課	8 / 9
帰国・外国人児童生徒日本語教育推進事業	人権・同和教育課	9 / 9

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
1	小学校1・2年30人学級編制実施事業 (H18 ~) 教育人事課 基礎学力の確実な獲得に向けた基本的な生活習慣、学習習慣の早期定着や生徒指導上の適切な対応を行うため、小学校第1学年及び第2学年に30人学級編制を導入する。	①増加学級への教員配置 123,920 ②非常勤講師の配置 820	増学級数 [学級]	目標値	101	93	94	基本的な生活習慣と学習習慣の定着度 [％]	目標値	70.5	71.0	71.5	A	
				実績値	101	93	—		実績値	70.5	77.9	—		
				達成率	100.0%	100.0%	—		達成率	100.0%	109.7%	—		
				目標値					事業の成果・今後の方針					
				実績値					平成30年度の小1プロブレムの発生率は、統計を取り始めた平成21年度より14.2ポイント減少し、18.1%となった。また、年度内の小1プロブレムの未解消率は、15.3%から5.1%に減少した。					
				達成率										
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値										
予算	144,659	124,740	139,188	実績値										
決算	144,659	124,286	—	達成率										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
2	中学校1年30人学級編制実施事業 (H20 ~) 教育人事課 中学校進学時の急激な環境の変化に伴う生徒指導上の対応に向けた体制を充実させ、学習体制の早期確立及び学力向上を図るため、中学校第1学年に30人学級編制を導入する。	①増加学級への教員配置 108,430 ②非常勤講師の配置 2,606	増学級数 [学級]	目標値	64	68	75	生活・学習習慣の定着度 [％]	目標値	64.5	65.0	65.5	A	
				実績値	64	68	—		実績値	64.7	70.3	—		
				達成率	100.0%	100.0%	—		達成率	100.3%	108.2%	—		
				目標値					事業の成果・今後の方針					
				実績値					平成17年度の県の学力調査では「授業がわかる」と肯定的に回答した生徒は、65.5%であったが、令和元年度は74.8%に向上した。個に応じた指導にかける時間の増加や生徒一人当たりの発言機会の増加等が背景にあると考えられる。					
				達成率										
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値										
予算	113,391	111,036	112,643	実績値										
決算	112,504	110,183	—	達成率										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
3	小学校学力向上対策支援事業 (H26 ~ R1) 義務教育課 小学校の学力向上を図るため、習熟度別指導推進教員を配置するとともに、基礎・基本の定着に加え、活用力の理解度を把握するため、学力定着状況調査(小5)を実施する。	①小学校教科担任制推進教員及び習熟度別指導推進教員の配置 139,410 ②大分県学力定着状況調査の実施 41,827 ③学習指導要領の改訂に伴う協議会の実施 305	年間3回の公開授業を行った習熟度別指導推進教員 [人] 学力向上プランの検証・授業改善に取り組んだ学校数 [校] 新教育課程の編成に向けた協議会に参加した教員数 [人]	目標値	18	9		偏差値34以下の小学生の割合 [％]	目標値	6.0	6.0		A	
				実績値	18	9			実績値	5.7	5.8			
				達成率	100.0%	100.0%			達成率	105.0%	103.3%			
				目標値	255	255			事業の成果・今後の方針					
				実績値	255	254			習熟度別指導による個に応じたきめ細かな指導により、低学力層を減少させることができた。また、学力向上プランの策定とその検証・改善に取り組むことで、平成31年度全国学力・学習状況調査では、全ての教科で全国平均を上回ることができた。					
				達成率	100.0%	99.6%			令和2年度から新たな数値目標を盛り込んだ推進計画を策定し、組織的な授業改善に取り組む「未来を創る学力向上支援事業」を実施する。					
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	760	760								
予算	177,014	184,017		実績値	644	284								
決算	176,611	183,087		達成率	84.7%	37.4%								

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
4	中学校学力向上対策支援事業 (H26 ~ R1) 義務教育課 中学校の学力向上を図るため、習熟度別指導推進教員を配置するとともに、基礎・基本の定着に加え、活用力の理解度を把握するため、学力定着状況調査(中2)を実施する。	①習熟度別指導推進教員の配置 278,820 ②問題データベースの配信による個に応じた指導の充実 31,927 ③学習指導要領の改訂に伴う協議会の実施 305	年間3回の公開授業を行った習熟度別指導推進教員 [人] 問題データベースを活用した中学校数 [校] 授業改善のための各種協議会の実施回数 [回]	目標値	36	36		偏差値34以下の中学生の割合 [％]	目標値	7.0	7.0		A	
				実績値	36	36			実績値	5.9	6.9			
				達成率	100.0%	100.0%			達成率	115.7%	101.4%			
				目標値	124	120			事業の成果・今後の方針					
				実績値	124	120			習熟度別指導の推進や問題データベースの配信など、個に応じたきめ細かな指導により、低学力層を減少させることができた。また、平成31年度全国学力・学習状況調査では、課題であった数学で全国平均を上回り、授業改善が定着しつつある。					
				達成率	100.0%	100.0%			令和2年度から新たな数値目標を盛り込んだ推進計画を策定し、組織的な授業改善に取り組む「未来を創る学力向上支援事業」を実施する。					
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	24	24								
予算	298,880	316,551		実績値	24	24								
決算	298,477	315,569		達成率	100.0%	100.0%								

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
5	ミュージアムを活用した美術教育実践事業 (R1 ~ R3) 義務教育課 児童の豊かな感性を育むため、優れた本物の作品を、ものの方・考え方が広がる時期の小学校4年生に少人数で主体的に鑑賞させる。また、小学校図画工作科鑑賞領域における教員の研修を実施する。	①作品鑑賞について、各市町村から参加希望校を募集 3,323 ②6月に全体研修、展示替え時期にミニ研修を実施 202	県立美術館での鑑賞授業を実施した学級数	目標値		54	54	美術館での鑑賞活動を授業実践につなげた学校の割合 [学級]	目標値		100.0	100.0	A
				実績値		41	—		実績値		100.0	—	
				達成率		75.9%	—		達成率		100.0%	—	
			引率教員のための実践を見据えた事前研修の実施回数	目標値		5	5	[回] 各校による事後実践事例のホームページ掲載件数	目標値		5	5	事業の成果・今後の方針 令和元年度はラグビーワールドカップの開催時期である9・10月に実施日を設定できなかったこともあり、参加学級が少ない傾向にあったが、参加校の多くの児童・教員から事業の意義について高い評価を受けた。一方で、教員に対する事前研修の多さが課題となったことから、令和2年度は、当日展示される作品を事前に連絡し、鑑賞の在り方についてのパンフレット等を送ることで事前研修に代える。
				実績値		7	—		実績値		5	—	
	達成率		140.0%	—	達成率		100.0%	—					
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値		5	5						
予算		3,525	5,990	実績値		5	—						
決算		2,670	—	達成率		100.0%	—						

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
6	読書だいすき大分っ子育成事業 (H28 ~) 社会教育課 子どもの豊かな心の育成と学力向上のため、自主的に読書に親しむ子どもを育成し、読書量の増加と質の向上を図る。	①子ども司書養成講座の実施及び読書日記帳の配布 3,403 ②モデル校へのアドバイザー派遣、セット本の貸出、作家の学校訪問 1,350 ③中学生・高校生ビブリオバトル大会の実施 188	子ども司書認定者数	目標値	72	72	72	公立図書館における中学生以下の子ども一人あたりの児童書貸出冊数 [冊]	目標値	12.9	13.0	13.2	B
				実績値	97	64	—		実績値	12.5	—		
				達成率	134.7%	88.9%	—		達成率	96.9%	91.5%	—	
			モデル校へのアドバイザー派遣回数	目標値	16	16	16	[回] 中学生・高校生ビブリオバトル大会出場者数	目標値				事業の成果・今後の方針 本事業のモデル校に指定され、アドバイザー派遣や作家の学校訪問を行った学校図書館では貸出冊数や不読率の改善がみられた。中学生ビブリオバトル大会は高校生の大会と比べ、平均参加者数が毎年10人程度少ないことから、中学校での定着に向けた取組を強化する必要がある。今後は市町村の主体的な取組、特に不読率の高い中学校での取組を推進する。
				実績値	16	17	—		実績値		43	41	
	達成率	100.0%	106.3%	—	達成率		126.5%	120.6%	—				
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	34	34	34						
予算	5,508	4,941	4,807	実績値	43	41	—						
決算	5,369	3,496	—	達成率									

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
7	児童・生徒の歯と口の健康促進事業 (H29 ~) 体育保健課 児童・生徒の歯と口の健康の促進を図り、生涯を通じて心身ともに健康な生活が送れるようにするため、歯磨き指導・食に関する指導・フッ化物の活用3本柱による、市町村格差のない継続的なむし歯予防対策を実施する。	①市町教育委員会・教職員・保護者に対する説明会等の実施 1,401 ②歯と口の健康推進アドバイザー派遣 486	フッ化物洗口不完全実施市町村における説明会等実施率	目標値	100.0	100.0	100.0	フッ化物洗口全学年実施小中学校数 [校]	目標値	230	320	364	B
				実績値	100.0	100.0	—		実績値	226	—		
				達成率	100.0%	100.0%	—		達成率	98.3%	92.5%	—	
			歯と口の健康推進アドバイザー派遣回数	目標値	118	134	100	[回] 情報共有サイトの事例数	目標値				事業の成果・今後の方針 フッ化物洗口拡大に向け、中学校での実施率が低い市町村教育委員会に対し積極的に働きかけるとともに、教職員や保護者に対する説明会に歯科医師を派遣し、専門的立場から安全に実施するための助言を行ったことにより、実施校数が増加した。
				実績値	107	122	—		実績値				
	達成率	90.7%	91.0%	—	達成率								
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値									
予算	1,683	1,887	1,170	実績値									
決算	535	1,057	—	達成率									

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
8	体力アップおおい推進事業 (H25 ~ R1) 体育保健課 児童生徒の体力の向上と運動習慣の定着を図るため、市町村教育委員会との連携により小学校の体育専科教員や中学校の体育推進教員による実効的な取組を推進し、運動好きな児童生徒を増加させる。	①ICTを活用した授業モデルの発信・共有 1,836	情報共有サイトの事例数	目標値	120	120		小・中学校における体力・運動能力調査での総合評価C以上の割合 [学級]	目標値	80.0	80.0		A
				実績値	123	130			実績値	85.4	83.7		
				達成率	102.5%	108.3%			達成率	106.8%	104.6%		
				目標値				[数] 児童生徒の体力の向上と運動習慣の定着を図るため、市町村教育委員会との連携により小学校の体育専科教員や中学校の体育推進教員による実効的な取組を推進し、運動好きな児童生徒を増加させる。	目標値				事業の成果・今後の方針 小・中学校において、運動意欲を喚起する体育・保健体育授業が推進されるとともに、一校一実践が学校全体で組織的・計画的に行われたことから、体力・運動能力調査における総合評価C以上の割合が、平成30年度に引き続き高い水準となった。ICTを活用した取組などにより、当初の事業目的を達成したことから当該事業は終了する。
				実績値					実績値				
	達成率				達成率								
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値									
予算	4,700	1,836		実績値									
決算	3,185	1,680		達成率									

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価		
9	スポーツを通じた学び推進事業 (H30 ~ R2) 体育保健課 子ども達がスポーツ(障がい者スポーツ含む)への関心を深めるとともに、目標に向かって努力することの大切さや他者を思いやる心等を身につけられるよう、オリンピック・パラリンピックを活用した教育に取り組む。	①パラリンピック競技普及体験事業 3,672 ②アスリート招聘事業 2,909 ③オリパラ教育拠点地域啓発セミナーの実施等 1,419	パラリンピック競技普及体験実施回数	目標値	5	10		推進校におけるスポーツの愛好度 [人]	目標値	84.8	84.8	84.8	B		
				実績値	12	23			実績値	85.2	77.9	—			
				達成率	240.0%	230.0%			達成率	100.5%	91.9%	—			
			区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	300	150		事業の成果・今後の方針 アスリートの招聘に止まらず、事前・事後学習を教育課程とリンクさせながら、キャリア教育、道徳、生徒会活動と教科横断的に取り組んだことで、児童生徒がスポーツに関心を持つとともに、「勇気を出すこと」、「目標に向かって努力すること」の重要性を学ぶことができた。				
			予算	7,328	8,000	6,000	実績値	1,030	413		今後は、これまでの取組が一過性のものとならないよう、パンフレット「大分県版I'm POSSIBLE」の作成・配布などにより、広く県内でスポーツを通じた学びを推進する。				
決算	6,463	6,051	—	達成率	343.3%	275.3%		目標値	3	3	3				
				実績値	3	3	—					—			
				達成率	100.0%	100.0%	—					—			

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価		
10	幼児教育推進体制充実事業 (R1 ~ R3) 義務教育課 幼児教育施設(幼稚園・認定こども園・保育所)における幼児教育の質の向上を図るため、幼児教育研修の支援や幼小接続に関する研修等を行う。	①幼児教育内容に関する助言や研修支援を行う幼児教育アドバイザーの派遣 10,411 ②幼児教育と小学校教育の円滑な接続をめざした研修の実施 880	幼児教育アドバイザーの派遣日数	目標値		270	270	アプローチプログラムを作成している幼児教育施設の割合 [人]	目標値		60.0	64.0	B		
				実績値		217	—		実績値		55.0	—			
				達成率		80.4%	—		達成率		91.7%	—			
			区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値		8	8	事業の成果・今後の方針 令和2年度からは、地域及び園において幼児教育の推進に当たる人材を育成できるように、新たに市町村アドバイザー、園内リーダー養成研修を実施する。				
			予算		11,291	13,481	実績値		8	—	※アプローチカリキュラム：就学前の幼児が円滑に小学校の生活や学習へ適応できるようにするとともに、幼児期の学びが小学校の生活や学習で生かされてつながらるように工夫された5歳児のカリキュラム				
決算		10,669	—	達成率		100.0%	—	目標値							
				実績値											
				達成率											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価		
11	ものづくりスペシャリスト育成推進事業 (H13 ~) 教育財務課 地域産業社会の振興と発展に貢献する人づくりをいっそう進めるため、農業・工業高校の実習設備を充実し、将来の産業界を担う高度な技術を持つ人材の育成を図る。	①高度情報化の進展に対応した農業・工業高校の実習設備の整備 38,442	整備計画に基づく重点設備導入校数	目標値	4	11	8	設備導入(更新)前に比べ、効果的な学習が可能になったと答える割合 [校]	目標値	100.0	100.0	100.0	A		
				実績値	4	11	—		実績値	100.0	100.0	—			
				達成率	100.0%	100.0%	—		達成率	100.0%	100.0%	—			
			区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				事業の成果・今後の方針 食品加工に必要な燻煙機や、電気実習に必要なプリント基板作成実習装置等の設備を整備したことにより、農業・工業高校の専門学習や進路意欲の向上に繋がっており、導入を実施した全ての学校で効果的な学習を行うことが可能となった。				
			予算	16,362	38,442	48,965	実績値				今後も、高度な技術・技能を有した専門的な職業人材の育成のために必要な設備を重点的に整備する。				
決算	16,361	38,440	—	達成率				目標値							
				実績値											
				達成率											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価		
12	学びの接続推進事業 (H30 ~ R2) 高校教育課 令和3年度の大学入学者選抜実施要項の見直しを見据え、児童生徒の学力向上を図るため、授業改善を推進し、小・中・高等学校を通じた一体的な指導体制を確立する。	①大学入学共通テストに対応する英語等の指導力向上の取組 7,577 ②生徒の主体性向上を目指す学び力向上ゼミ等の実施 1,605 ③教科指導リーダーの育成 1,206	学ぶ力向上ゼミ参加生徒数	目標値	400	400	400	進学重点8校等の難関大合格者数 [人]	目標値	215	220	225	A		
				実績値	226	509	—		実績値	276	262	—			
				達成率	56.5%	127.3%	—		達成率	128.4%	119.1%	—			
			区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	400	400	400	事業の成果・今後の方針 難関大学の合格に向けた指導はこれまで個別指導に頼りがちであったが、教員向けの「公開授業」の参加者数が増え、各校の授業改善が更に進められ、小・中・高等学校を通じた一体的な学習指導体制が確立され、教員の指導力が向上し、難関大学合格者数を増やすことができた。				
			予算	5,164	15,291	20,161	実績値	469	595	—	引き続き、生徒向けの「学ぶ力向上ゼミ」等を開催し、生徒が低学年から難関大学を目指すことができる体制を目指す。				
決算	4,418	14,353	—	達成率	117.3%	148.8%	—	目標値	150	150	150				
				実績値	138	121	—								
				達成率	92.0%	80.7%	—								

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
13	大分をつなぎ、つむぐキャリア教育推進事業 (R1 ~ R3) 高校教育課 将来の地域の担い手となる普通科高校生を育成するため、フォーラムや教員研修を実施するとともに、生徒が自己のキャリアを見つめる「大分県版キャリアノート」の普及を進める。	①キャリア教育事業（フォーラム・インターンシップ） 1,496 ②大分県版キャリアノートの普及 835 ③大分をつなぎ、つむぐキャリア教育研修（教員向けキャリア意識向上等研修） 87	普通科を対象としたキャリア教育事業に参加した生徒数 [人]	目標値		650	700	キャリア意識が高まった普通科高校生の割合 [％]	目標値		70.0	75.0	A	
				実績値		666	—		実績値		73.0	—		
				達成率		102.5%	—		達成率		104.3%	—		
				「キャリアノート」を有効的に活用できた生徒の割合 [%]	目標値		55.0		60.0	事業の成果・今後の方針				
				「大分をつなぎ、つむぐキャリア研修」が効果的だったと回答した教員の割合 [%]	目標値		80.0		85.0	高校生のキャリア意識に関する調査により、キャリア意識の向上にキャリアノートの活用が有効であるとわかったことから、目標を下回っているキャリアノートの活用率を高めることが必要。令和2年度は、担当教員研修に「キャリアノート活用の事例紹介」等を加えるなど、有効活用に向けた周知徹底に努める。				
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値										
予算		2,418	2,510	実績値										
決算		1,962	—	達成率		120.4%	—							

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
14	全国産業教育フェア大分大会開催準備事業 (R1 ~ R2) 高校教育課 産業教育の充実・発展を図るため、高校生が日頃の学習成果を発表する「全国産業教育フェア大分大会」を開催する。	①第30回全国産業教育フェア大分大会開催 9,273	プレ大会参加者数 [人]	目標値		2,000		産業教育の理解度 [％]	目標値		60.0	80.0	A	
				実績値		3,308			実績値		86.0	—		
				達成率		165.4%			達成率		143.3%	—		
				本大会参加者数 [人]	目標値				100,000	事業の成果・今後の方針				
				達成率					—	プレ大会の開催により、本大会での役割整理や問題点の洗い出しを行うことができた。引き続き、着実に準備を進め、本大会の成功及び産業教育の理解度向上を図る。				
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値										
予算		9,273	42,090	実績値										
決算		8,434	—	達成率										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
15	大分のもつくり魅力発信・人材育成事業 (R1 ~ R3) 高校教育課 大分の未来を築く工業教育を推進するために、地域産業界との連携を深め、高度な技術・技能を有する専門的職業人材（スペシャリスト）の育成を図る。工業科生徒の「一人一資格取得」を推進する。	①職業資格取得・知的財産教育の推進 9,546	技能士取得者数 [人]	目標値		423	429	一人一資格が実践できた学校 [校]	目標値		8	9	C	
				実績値		507	—		実績値		7	—		
				達成率		119.9%	—		達成率		87.5%	—		
				ジュニアマイスター顕彰取得者数 [人]	目標値		270		276	事業の成果・今後の方針				
				達成率		84.1%	—		技能士取得者が増加したことから、次年度以降はジュニアマイスター顕彰取得者も増加する見込みである。また、企業見学やインターンシップの実施は、職業観・勤労観の醸成とともに県内企業の魅力発見にもつながった。引き続き「一人一資格取得」を推進するためには、教員自身が生徒の多様なニーズに対応できる力量や幅広い分野の資格を身につける必要がある。					
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値		10	10							
予算		9,546	9,599	実績値		9	—							
決算		8,835	—	達成率		90.0%	—							

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
16	キャリアプロデューサー活用推進事業 (R1 ~ R3) 高校教育課 工業系高校生の県内就職を支援するため、工業系高校にキャリアプロデューサー2名を配置する。	①県内企業の情報発信とキャリア教育の推進 6,723	キャリアプロデューサーのガイダンス実施校 [校]	目標値		10	10	県内企業の就職内定率の向上 [％]	目標値		70.0	75.0	B	
				実績値		10	—		実績値		64.4	—		
				達成率		100.0%	—		達成率		92.0%	—		
				キャリアプロデューサー企業訪問数 [社]	目標値		74		144	事業の成果・今後の方針				
				達成率		164.9%	—		キャリアプロデューサーが学校訪問・企業訪問を積極的に行い、収集した企業の情報を全工業系高校と共有した。引き続き、学校、卒業生、企業等、それぞれのニーズに対応できるよう、情報収集を行い、就職支援につなげる。					
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値		29	29							
予算		6,723	10,356	実績値		23	—							
決算		4,877	—	達成率		79.3%	—							

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価					
17	大分の農林水産業を牽引する担い手育成推進事業 (H30 ~ R2) 高校教育課 本県の農林水産業を牽引する力強い担い手を育成するため、先進的な農業者や大学等と連携し、農林水産高校生を対象とした実践的な研修等を行う。	①担い手育成プログラム（くじゅうアグリ創生塾での研修等）の実施 16,588 ②農林水産人材育成地域協育プログラムの推進 6,636 ③農作物等の生産工程管理システム導入研修 1,233	農林・林業・水産業スキルアップ研修を受講した生徒数 [人]	目標値	500	510	700	県内の農林水産関連企業等に就職した生徒数 [人]	目標値	64	65	66	A					
				実績値	1,467	824	—		実績値	67	66	—						
				達成率	293.4%	161.6%	—		達成率	104.7%	101.5%	—						
				事業の成果・今後の方針														
				地域との連携や研修施設等との協働により、農林水産関連企業に就職する生徒の中で、生産分野（農業法人・林業・漁業）に就職する比率が高まった。引き続き、地域を牽引する担い手の育成を図るため、農業水産業の魅力ややりがいを実感できる取組を進める。なお、くじゅうアグリ創生塾については、参加した生徒の受講アンケートで、研修満足度は100%、自己の取組内容を肯定的に捉える生徒は66.9%であった。														
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	30	33	36											
予算	13,369	43,074	33,175	実績値	41	34	—											
決算	11,422	39,346	—	達成率	136.7%	103.0%	—											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価					
18	魅力あふれる農業高校情報発信事業 (H30 ~ R2) 高校教育課 さらなる少子高齢化が進む中において、将来の県農業を担う人材の確保・育成を図るため、久住高原農業高校で全国募集を実施し、農業に対して意欲のある生徒を県外から呼び込む。	①県外での学校説明会（地域みらい留学フェスタ） 1,415 ②オープンキャンパスの実施 517	県外説明会参加者 [人]	目標値	1,000	1,100	1,210	県外からの受験生 [人]	目標値	15	17	19	D					
				実績値	1,150	2,093	—		実績値	1	8	—						
				達成率	115.0%	190.3%	—		達成率	6.7%	47.1%	—						
				事業の成果・今後の方針														
				（一財）地域・教育魅力化プラットフォームが毎年開催し、生徒・保護者約2,000人が参加する「地域みらい留学フェスタ」を活用し、関心を寄せた参加者にメールで情報を提供するなどの継続的なアプローチを行ったことで、県外から8名の受験生の確保につながった。引き続き、フェスタの活用、オープンキャンパスやHP、学校パンフレットのブラッシュアップなどにより、県外受験生の確保に努める。														
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	60	66	72											
予算	2,062	1,932	1,975	実績値	4	34	—											
決算	1,803	1,725	—	達成率	6.7%	51.5%	—											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価					
19	地方創生を担うビジネスカパワーアップ事業 (R1 ~ R3) 高校教育課 地方創生に貢献する将来の若手リーダーを育成するため、地域の活性化に向けた実践的活動を通して、起業家精神やビジネスマナー、課題解決力を身につけさせる。	①「高校生発！地域創生」プロジェクト 7,380 ②ビジネスマナー育成セミナー 4,008	「高校生発！地域創生会議」卒業生外部サポーター数 [人]	目標値		12	24	起業に興味、関心を持つ生徒が増加した学校数 [校]	目標値		12	13	A					
				実績値		19	—		実績値		12	—						
				達成率		158.3%	—		達成率		100.0%	—						
				事業の成果・今後の方針														
				地域企業、大分で活躍する卒業生、生徒が地域の魅力や課題について互いに意見を交わすことで、起業家精神を育成する授業が展開できた。今後は、日々の指導において、地域の魅力や課題について学べる機会も取り入れながら、引き続き、高校生ならではの地域連携の取組や、独創的な商品開発などを通じた取組を実施していく。														
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値		48	60											
予算		11,388	8,547	実績値		53	—											
決算		7,023	—	達成率		110.4%	—											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価					
20	福祉の魅力発見・発信・発展事業 (R1 ~ R3) 高校教育課 福祉系高校で、入学者を確保し、在校生・卒業生を確実に地域の福祉人材として育成するため、福祉の仕事の誇りや、やりがい、地域福祉の発展に貢献することの意義を体験できる活動を行う。	①福祉のパイオニアによる知識・技術向上活動等 1,358	生徒の意識向上度 [%]	目標値		60.0	65.0	福祉系就職率 [%]	目標値		60.0	65.0	B					
				実績値		63.0	—		実績値		57.0	—						
				達成率		105.0%	—		達成率		95.0%	—						
				事業の成果・今後の方針														
				福祉系就職率57%、福祉系進学率86%、また、介護福祉士国家試験の合格率は96.0%(全国69.9%)と全国平均を上回る結果となり、本県の福祉・介護人材の量的・質的確保につなげることができた。今後は、大学、福祉施設等の福祉の専門家等との連携による講習会や地域福祉貢献活動の充実を図るとともに、福祉・介護の魅力を発信する取組を各校で実施する。														
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値														
予算		1,358	1,358	実績値														
決算		1,234	—	達成率														

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
21	教育庁ワークセンター設置運営事業 (R1 ~) 教育人事課	①障害者の雇用 4,217	教育庁ワークセンターにおける知的障がい者等雇用数 [人]	目標値		3	6	障がい者等雇用率 [%]	目標値		2.40	2.40	D
				実績値		3	-		実績値		1.65	-	
				達成率		100.0%	-		達成率		68.8%	-	
				目標値					事業の成果・今後の方針				
	実績値				教育庁ワークセンターで、一般就労に必要な能力を身につけることにより、3名のスタッフのうち1名が令和2年度から一般就労することになった。令和2年度からは教育庁ワークセンターに加え、新たに県立学校や県立図書館等の教育機関にも障がい者スタッフを雇用し、障がい者の法定雇用率の達成を図る。								
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				実績値					
予算		7,092	95,428	達成率				達成率					
決算		6,983	-										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
22	特別支援教育振興事業 (H15 ~) 特別支援教育課	①特別支援学校における特別支援教育の充実 5,422	カリキュラム・マネジメントが推進された学校数 [校]	目標値		16	16	保護者評価アンケートで3.0以上(4点評価の場合)の学校割合 [%]	目標値	100.0	100.0	100.0	A
				実績値		16	-		実績値	100.0	-		
				達成率		100.0%	-		達成率	100.0%	-		
				目標値	16	16	16		事業の成果・今後の方針				
	実績値	16	16	-	全ての特別支援学校で保護者からの高い満足度が得られるなど、子どもたち一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援を行うことができた。引き続き、安全で安心な教育体制の整備を行うとともに、多様な障がいに対応できるように、教職員の専門性の向上等にも取り組む。								
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成率	100.0%	100.0%	-	目標値	144	144	144		
予算	5,515	13,598	6,122	実績値	207	238	-	達成率	143.8%	165.3%	-		
決算	5,159	12,610	-										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
23	特別支援学校ICT活用支援事業 (H29 ~ R1) 特別支援教育課	①訪問教育における遠隔授業の実施(セルラーモデル) 1,107	タブレット型端末を活用した実践事例報告数 [件]	目標値	200	200		授業でタブレット型端末を活用する幼児児童生徒の割合 [%]	目標値	87.0	95.0		B
				実績値	235	300			実績値	86.5	94.5		
				達成率	117.5%	150.0%			達成率	99.4%	99.5%		
				目標値	12	12			事業の成果・今後の方針				
	実績値	16	12		授業において教員のタブレット型端末等の活用が進み、学習で活用する幼児児童生徒も増加したことから、本事業は終了する。授業でのICT活用は進んだものの、生活場面での活用がまだまだ不十分であることから、令和2年度から、生活場面での活用を進める「特別支援学校ICT活用充実事業」を実施する。								
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成率	133.3%	100.0%		目標値	48.0	48.0			
予算	4,064	1,506		実績値	54.0	56.0		達成率	112.5%	116.7%			
決算	3,071	1,127											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
24	特別支援学校就労支援事業 (H23 ~ R3) 特別支援教育課	①就労支援アドバイザーの配置 22,490	就労支援アドバイザーの開拓企業数 [件]	目標値	128	111	111	知的障がい特別支援学校高等部生徒の一般就労率 [%]	目標値	31.7	31.9	32.3	D
				実績値	161	187	-		実績値	28.5	20.0	-	
				達成率	125.8%	168.5%	-		達成率	89.9%	62.7%	-	
				目標値	32	32	32		事業の成果・今後の方針				
	実績値	22	26	-	通勤手段の確保が困難、適切な支援がある生活の場(グループホーム等)の確保を優先する等の理由から、福祉施設への進路希望変更があり、一般就労率が8.5ポイント低下した。今後、全校への調査を通して希望変更理由の背景を明らかにし、就労支援アドバイザーの業務の見直しを行う。また、アドバイザーの校内進路指導への参画強化を図るため、進路指導担当教員とアドバイザーを集めた会議において、関係機関による進路指導の充実に関する情報提供を行う。								
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成率	68.8%	81.3%	-	目標値	400	400	400		
予算	28,535	26,167	31,868	実績値	403	663	-	達成率	100.8%	165.8%	-		
決算	28,017	25,208	-										

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価		
25	特別支援学校キャリアステップアップ事業 (H30 ~ R2) 特別支援教育課 特別支援学校生徒の一般企業等への就労を促進するため、卒業生を県立学校で雇用し、労働習慣やスキルの獲得を支援する。	①知的障がい者の雇用 21,007	勤務のべ日数(実際の勤務日/予定した勤務日) [日]	目標値	688	3,210	5,760	雇用期間を通して勤務したチャレンジスタッフの人数 [人]	目標値	3	13	24	A		
				実績値	686	2,884	—		実績値	3	13	—			
	②サポートチームによる就労支援 7,443	サポーター会議実施回数(回/1人) [回]	目標値	4	4	4	事業の成果・今後の方針 令和2年3月時点で、雇用した13名のうち1名について、企業への就職が内定した。その他のスタッフもワークマネージャーを中心とした就労支援により、仕事に取り組む態度、作業効率、正確性などの労働習慣が向上している。 令和2年度は、勤務3年目を迎える3名が企業等に就職できるよう、特にスタッフ・保護者との面談や企業訪問、職場実習に重点的に取り組む。	達成率	99.7%	99.6%	—	達成率	100.0%	100.0%	—
			実績値	4	4.8	—		達成率	100.0%	121.3%	—				
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				目標値						
予算	5,457	28,450	72,867	実績値				実績値							
決算	5,157	27,506	—	達成率				達成率							

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
26	小中学校特別支援教育充実事業 (H29 ~ R1) 特別支援教育課 特別支援学校への通学が困難な地域であっても、地域の小中学校で特別支援学校と同等の教育が実施できるよう、佐伯、日出、日田の各支援学校に配置した教員をサテライトコーディネーターとして派遣する。	①サテライトコーディネーター派遣事業 39,783	サテライトコーディネーターの派遣日数 [日]	目標値	525	525	「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」を作成・改善した児童生徒数 [人]	目標値	30	29		A	
				実績値	491	481		実績値	30	31			
	②効果的な合理的配慮を検討するための環境整備 658	エリア別特別支援教育コーディネーター研修を受講した学校割合 [%]	目標値	90.0	90.0	事業の成果・今後の方針 個別の指導計画の作成・活用、全対象校で研究会を実施するなど障害の特性に応じた指導の充実、特別な支援の必要な児童生徒への組織的な対応を行うための校内体制の整備などが進み、事業目的を達成したことから、当該事業は終了する。	達成率	100.0%	91.6%	達成率	100.0%	106.9%	
			実績値	30.0	28.0		達成率						
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				目標値				
予算	39,835	39,783		実績値				実績値					
決算	39,815	39,320		達成率				達成率					

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
27	発達障がいのある子どもの学び支援事業 (H29 ~ R1) 特別支援教育課 発達障がいのある幼児児童生徒に合理的な配慮ができるよう「個別の指導計画」の作成を支援する専門家を学校に派遣するとともに、障がいに対する保護者の理解を促進するための説明会を開催する。	①保護者への障がいに対する理解促進 1,862	合理的配慮説明会の受講者数 [人]	目標値	350	400	「個別の指導計画」を作成している小中学校(通常の学級)の割合 [%]	目標値	70.0	85.0		A	
				実績値	350	350		実績値	68.5	94.4			
	②効果的な合理的配慮を検討するための環境整備 658	③効果的な合理的配慮を検討するための環境整備 658	目標値	90.0	90.0	事業の成果・今後の方針 各種研修及び説明会、幼小中高の全保護者へのパンフレット配布等の取組により、関係職員及び保護者等の合理的配慮に係る理解が進み、通常学級における個別の指導計画作成率を向上させることができた。今後は、作成した個別の指導計画の活用に取り組む。 事業目的を達成したことから、当該事業は終了する。	達成率	100.0%	87.5%	達成率	97.9%	111.1%	
			実績値	30.0	28.0		達成率	33.3%	31.1%				
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				目標値				
予算	3,395	3,402		実績値				実績値					
決算	2,902	2,648		達成率				達成率					

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価		
28	特別支援教育支援員活用事業 (H30 ~ R2) 高校教育課 高等学校における特別支援教育の充実を図るため、特別支援教育支援員を配置し、障がいのある生徒の日常生活の介助及び学習支援を行う。	①特別支援教育支援員の配置 12,633	支援員の配置校数 [校]	目標値	6	7	7	支援をした生徒数 [人]	目標値	12	21	21	A		
				実績値	6	7	—		実績値	19	35	—			
	②効果的な合理的配慮を検討するための環境整備 658	支援員の活用頻度 [%]	目標値	80.0	80.0	80.0	事業の成果・今後の方針 高等学校における合理的配慮の申請数は年々増加傾向にあり、今後も支援員を必要とする学校は増加することが予想されるため特別支援教育支援員の配置を継続する。	達成率	100.0%	100.0%	—	達成率	158.3%	166.7%	—
			実績値	88.0	89.8	—		達成率	110.0%	112.3%	—				
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				目標値						
予算	10,259	12,633	16,347	実績値				実績値							
決算	9,486	12,388	—	達成率				達成率							

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
29	ICT活用教育推進事業 (H30 ~ R1) 教育財務課	①農業系高校における遠隔教育の導入に関する実証研究 2,890	遠隔授業の実施授業数 [科目]	目標値	5	10		教員・生徒の遠隔教育に対する肯定的回答値 [5段階点]	目標値	4.0	4.0		A
				実績値	2	32			実績値	4.1	4.0		
	全国に普及可能な遠隔教育授業モデルを開発するため、農業系高校を対象に、遠隔教育の実証研究を行う。	②ICTを活用した小・中学校プレゼンテーションコンテスト 450	小・中学生プレゼンテーションコンテストの参加児童生徒数 [人]	目標値	12	12		事業の成果・今後の方針	達成率	102.5%	100.0%		
				実績値	31	32			遠隔授業の環境整備充実と授業科目数の増加により、飛躍的に実施授業数が向上し、専門的な内容の講義を提供できたことによる生徒の満足度が高まった。 遠隔教育実証研究の国庫補助は令和元年度で終了したが、来年度からは県立学校ICT教育基盤整備事業にて取組を継続する。今後は、遠隔授業を推進するとともに、より多くの小・中学生がプレゼンテーションコンテストに参加するよう、ホームページや研修等での周知を図る。	達成率			
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				実績値				
予算	3,559	3,340		達成率									
決算	3,280	3,146											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
30	県立学校ICT活用授業推進事業 (R1 ~ R3) 教育財務課	①県立学校の無線LAN環境整備等 327,208	タブレット稼働率 [%]	目標値			50.0	学力向上を実感する生徒の割合 [%]	目標値		80.0	80.0	B	
				実績値			—		実績値		79.2	—		
	令和4年度の新学習指導要領実施に向けて生徒の情報活用能力を育成するため、県立学校にICT教育環境を整備するとともに、ICTを活用した効果的な授業の着実な実施につなげる教科別研修会等を開催する。	②普通科高校等のICT機器整備 181,990	英・数・理で作成したICT教材の合計数 [個]	目標値		10	15	事業の成果・今後の方針	達成率			99.0%	—	
				実績値		38	—		電子黒板332台、タブレット型端末1,417台、プレゼンテーション実践教室を5教室、パソコン教室用端末328台を整備した。 また、国が令和5年度までの5ヶ年計画で1人1台端末の実現に向けた環境整備を進めたことから、本県においても令和元年度2月補正で必要経費を予算計上し、本事業で併せて整備を進める。引き続き、教科別研修会等を通じてICTを活用した効果的な授業を行うことにより、県立学校の学力向上に繋げる。 (翌年度繰越額：337,947千円)	達成率		380.0%	—	
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	③特別支援学校等の端末整備 12,375	教科別研修の開催合計数 [回]	目標値	6	6	実績値	4	—	達成率	66.7%
予算		521,573	156,853											
決算		180,783	—											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
31	新時代の学びを支える先端技術活用支援事業 (R1 ~ R3) 義務教育課	①ICTアドバイザーを小・中学校に各1名配置 4,461	アドバイザーの授業支援回数 [回]	目標値		252	396	ICTを活用した授業を週1回以上実施した学校の割合 [%]	目標値		55.0	65.0	—
				実績値		450	—		実績値		—	—	
	子どもたちの学習に対する興味関心を高め、情報活用能力等の育成を図るため、姫島ITアイランド構想を進める姫島村の小・中学校にICTアドバイザー(各1名)を配置する。	②ゲストティーチャー招聘による授業サポート 48	教育庁チャンネルでの授業公開回数 [回]	目標値		1	2	事業の成果・今後の方針	達成率			—	—
				実績値		1	—		令和元年度は、主に端末の整備やICTを活用した授業を行うための機器設定の支援を実施した。令和2年度は、アバターや遠隔会議アプリを活用した社会見学などの学習、タブレット端末等を活用した授業の実施を具体的に支援していく。 成果指標の令和元年度実績値は、令和3年1月頃に確定する見込みである。	達成率		100.0%	—
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度					目標値				
予算		4,509	7,624					実績値					
決算		4,461	—					達成率					

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
32	子ども科学体験推進事業 (H24 ~) 社会教育課	①大学・高校、企業、教育機関等との連携による、主に小学生を対象とした科学体験講座の実施 26,093	科学体験講座実施回数 [回]	目標値	100	118	150	O-Laboを利用した児童・生徒数 [人]	目標値	3,500	4,100	6,100	A
				実績値	102	123	—		実績値	3,601	4,451	—	
	小・中学生の科学に関する好奇心や探究心を育むため、「少年少女科学体験スペースO-Labo(オーラボ)」を設置し、企業・大学・高校と連携した科学体験講座を実施する。	②各市町村の放課後チャレンジ教室等での科学体験講座の実施 471	出前講座実施回数 [回]	目標値	30	18	18	事業の成果・今後の方針	達成率	102.9%	108.6%	—	
				実績値	30	18	—		高校や青少年の家を会場にした講座を新たに開設するなど年間講座回数を増加したことにより、より多くの児童・生徒に科学体験の機会を提供できた。 定員を超えるO-Laboの受講希望があるため、令和2年6月にO-LaboをNIT西日本府内ビルに移転させ、講座1回あたりの定員の増加を図る。また、地域に住む子どもたちの科学体験の機会を拡大するため、地域拠点で定期的に科学体験講座を実施する。	達成率		100.0%	100.0%
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度					目標値				
予算	14,411	26,564	32,545					実績値					
決算	14,411	26,555	—					達成率					

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額				主な事業内容		活動指標			達成度		成果指標				達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
33	帰国・外国人児童生徒日本語教育推進事業 (R1 ~ R3) 人権・同和教育課 帰国・外国人児童生徒の日本語能力に応じた、きめ細かな日本語指導ができるよう、大学と連携して県立高校及び小・中学校に支援員を派遣する。				① 生徒一人ひとりの日本語能力にあった日本語指導の実施 3,901 [回]		日本語指導が必要な生徒に対し、個別の指導を行った回数			目標値		470	720	指導を受けて日本語能力がアップした生徒の割合 [％]		目標値		80.0	90.0	A
							実績値				423	—	実績値				81.2	—		
	達成率				90.0%	—	事業の成果・今後の方針 32名(高1校、中4校、小12校)の指導を実施。県教委、市教委、学校、指導員が連携し、派遣の回数、時間、教材、指導内容を工夫したことで、確実な日本語能力の向上につながった。 今後も、日本語指導が必要な児童生徒の増加が見込まれることから、県教委として指導のための人員を確保し、ニーズに応じた派遣体制の整備を推進する。				達成率			101.5%	—					
	区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	② ICTを活用した効果的な指導 240 [校]					モデル校の実践を通して作成したマニュアルを配布した学校数			目標値		38	38	達成率		
	予算		4,141	6,459	実績値															
決算		3,617	—		達成率															